

超長期30年運用を標榜する、新しい投信の形…、 コモンズ投信が目指すのは“三方よし”。

荒波の今だからこそ、
生活者が主体の投信を！

30年。という明確な時間軸で
ファンドを運用する、新しい投
信会社が生じた。コモンズ投
信という、どの金融機関の系列
にも属さない、独立系の投信会
社だ。

この1月19日に第1号の「コ
モンズ30ファンド」を設定し、
投資対象ファンドの精査、ポー
トフォリオの構築が始まった。
ファンド名にある「30」は、
30年という長期の目線で運用す



洗澤 健さん
コモンズ投信
代表取締役会長

JPモルガン銀行、ゴールドマン・サックスなど、米国の金融機関やヘッジファンドを経て、独立。コモンズ投信を2008年に設立。洗澤栄一の5代目の子孫に当たる。

ること、厳選した30銘柄に集中
投資することを象徴する数字だ。
投資した企業に対しては、長
期での持続的な成長が可能にな
るよう、第三者の立場から、双
方的対話。を促す。一方では、
定期的なセミナーなどを通じて、
ファンドの保有者と緊密な関係
を築く。こうした「対話」を繰
り返していく中で、社会と顧客
コモンズ投信のそれぞれにメリ
ットのある「三方よし」の状態
が生まれる。
コモンズ投信の会長・洗澤健
さんが描く30年企業のイメージ

は、「30年という時
の流れに耐えうる企
業文化を持ち、株主
などとの対話力があ
る、いい意味でのコ
ーポレートガバナン
ス（企業統治）を徹
底している会社」だ。
国内企業で常時10
0社くらいの投資対
象候補があり、そこ
から30社に絞り込ん
で投資する。

「30年先のことは誰
にもわかりません。
でも、現在の日々を
積み重ねた先に30年
後がある。運用を通じて、投資
先企業、ファンドを購入してく
れる顧客とともに、素晴らしい
30年後の日本をつくる方法を考
えていきたいというのが、この
ファンドの設立目的です」（洗
澤さん）
若い人も早い時期から投資が
しやすいように、月々3000
円からの積み立て投資も可能に
なっている。また、従来の独立
系投信会社はファンド・オブ・
ファンズ形式での運用が多いが、
コモンズ投信は純粋なアクティ
ブ運用型だ。

基本データ

ファンド名	コモンズ30ファンド
投資対象	国内外の株式等
購入単位	1万円以上1円単位
積み立て購入単位	3000円以上1円単位
申し込み手数料	なし
信託財産留保額	なし
信託報酬	年率1.2075%

※詳細はホームページで。
<http://www.common30.jp/>

コモンズ投信の新しい試み5

- 1 投資先企業に対する
提言をしていく。
▶ 生活者の長期的な観点から、投資先企業にとって有益な対話を目指し、悪影響が及ぶと思われる点も的確に指摘することで、持続的な成長を支える。
- 2 保有者との対話を
近い距離で行なう。
▶ 定期的なセミナーなどを通じてファンド保有者と接し、対話の中での意見を通じて企業価値の創造に貢献する。保有者との距離が近いファンドを目指す。
- 3 投信積立も可能、
長期運用を目指す。
▶ 無理なく長期的な積み立て投資を可能にするためには、最低積立全額の少額化がポイント。3000円から可能というのは、現行ファンドの中でも少ない。
- 4 30社をコアに
アクティブ運用。
▶ 30銘柄でも分散効果はあるが、日本株対象のアクティブ運用型でここまで銘柄数を絞り込んで投資するケースはまれ。「運用担当者の目の届く範囲」を重視。
- 5 企業のDNAに着目した
銘柄選びを心がける。
▶ 銘柄選択時は、業績や株価指標などのデータと同様に、数値に表れにくい社員の情熱、研究開発にある技術開発など「企業のDNA」という要素にも着目する。